

2019  
1



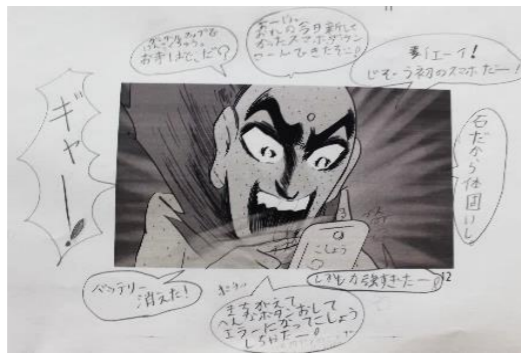
## 特別展 Oh! マツリ☆ゴト 昭和・平成のヒーロー&ピーポー展関連 「ふきだし」つけちゃおう!

- 開催日時：1月26日（土） 13:00～15:30
- 参加者：こども12名と保護者
- 対象：小学生以上
- 参加費：200円
- 場所：アトリエ2・企画展示室

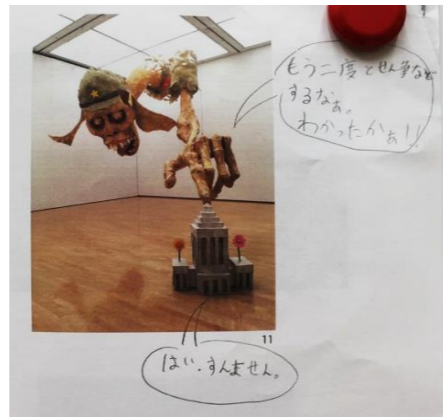
### ■参加者の作品



「ヒーローなんてやってる場合じゃない」



「ギャー!」「イエーイ!」「じぞう初のスマホだー!」「グーグルマップでけんさくちゅう。お寺はどこだ?」等



「もう二度と戦争などするなあ。わかったかあ!!」「はい、すみません」

### ■参加者の感想

- ・みんなそれぞれの個性があって、いろんな意見がでて楽しかった。
- ・いろんなセリフが想像できてたのしかった。
- ・おもしろい絵がたくさんあったのしかった。
- ・自分の思ったことを書いて発表できてたのしかった。

### ■保護者の声

- ・こどもも大人も知らない時代の絵に関心が持てるような企画で楽しかったです。
- ・この先歴史を習った時に理解を深める助けになる。
- ・子どもと同じ質問に答えて見せ合う楽しさがありました。

### プロセス

#### ■解説

はじめに、今回の展覧会を担当した小林学芸員がヒーロー&ピーポー展について簡単に解説しました。「ピーポーって知ってる?」との問いかけに「パーリーピーポー!!!」と元気な答えが返ってきました。なんだか時代を感じるなあ。鑑賞のヒントをもらったら、みんなで展示室に移動しました。黒いカーテンの奥にはどんな世界が広がっているのでしょうか。



#### ■制作

アトリエに戻ってワークシートに取り組みました。12点の作品にかたちも数も自由にふきだしを書き込んでセリフを考えました。人以外にも、建物やスマホなど、色々なものに語らせることによってそれぞれの個性が光りました。こどもたちの真剣な表情はもちろん、保護者のみなさんも夢中になって取り組んでいたのが印象的でした。



#### ■ふり返って

今まで見ているように見えていなかった作品の中にある色々な人物やその表情の違いを発見することができて楽しかったです。何よりモノにまで台詞をつけてしまうこどもたちの発想に脱帽です。(小林学芸員)



#### ■鑑賞

登場人物にふきだしボードをかざしてセリフを考える練習をしました。白川昌生さんの作品では「おいしいなあ」「誰もいないから食べちゃおう」「麺がのびちゃった」「電車が来るまでに食べないと!」など様々な意見がでました。登場人物の気持ちや場面を想像しながら鑑賞することがポイントです。



#### ■発表

発表の時間です。はじめは緊張気味でしたが、途中から大変盛り上がり大喜利大会のようでした。関西っ子の得意ジャンルだったかな。時代背景について詳しく解説したわけではないのですが、戦争に関連したセリフを書いた参加者もいました。まるで絵の中に入ってきたかのようにストーリーを語りだすこどもたちに、改めて絵の見方を教わった気がしました。